

平成23年度　浦和実業学園中学校（国語）解答・解説

二 解答

典型
に
な
オ
力
き
ざ
仕
業
会
得
め
し
あ
が
っ
て
い
ら
っ
し
ゃ
る
（「おいでになる／おこしになる」なども可）
おこし（「おいで」も可）
おつし
ゃ
る
(4)(3)
(1)(1)(1)(1)
(2)(2)(2)
(3)(3)
(4)(4)
(5)(5)
構
図
なか
温
存

典型
に
な
オ
力
き
ざ
仕
業
会
得
め
し
あ
が
っ
て
い
ら
っ
し
ゃ
る
（「おいでになる／おこしになる」なども可）
おこし（「おいで」も可）
おつし
ゃ
る
(4)(3)
(1)(1)(1)(1)
(2)(2)(2)
(3)(3)
(4)(4)
(5)(5)
構
図
なか
温
存

典型
に
な
オ
力
き
ざ
仕
業
会
得
め
し
あ
が
っ
て
い
ら
っ
し
ゃ
る
（「おいでになる／おこしになる」なども可）
おこし（「おいで」も可）
おつし
ゃ
る
(4)(3)
(1)(1)(1)(1)
(2)(2)(2)
(3)(3)
(4)(4)
(5)(5)
構
図
なか
温
存

典型
に
な
オ
力
き
ざ
仕
業
会
得
め
し
あ
が
っ
て
い
ら
っ
し
ゃ
る
（「おいでになる／おこしになる」なども可）
おこし（「おいで」も可）
おつし
ゃ
る
(4)(3)
(1)(1)(1)(1)
(2)(2)(2)
(3)(3)
(4)(4)
(5)(5)
構
図
なか
温
存

二 解説

「鉢」に植えられている植物は、その鉢の大きさ以上に根を張つて大きくなることはできません。植物にとって「矛盾」とは「二つのものごとが食い違つていてつじつまが合わないこと。」という意味です。――⑤直後の文章「鉢」の大きさが自分の成長の「限界」なのです。「限界」の類義語として「上限」「限度」などといつた解答でもいいでしょう。

問士一 お互い理解し合えた（九字）（「わかり合えた」（六字）も可）
問士一 自分を理解してくれる大和田の言葉がうれしく、続くおれの言葉に、これからはありのままの自分でいようと決めた前向きな気持ち。（六十字）

問士一 「鉢」に植えられている植物は、その鉢の大きさ以上に根を張つて大きくなることはできません。植物にとって「矛盾」とは「二つのものごとが食い違つていてつじつまが合わないこと。」という意味です。――⑤直後の文章「鉢」の大きさが自分の成長の「限界」なのです。「限界」の類義語として「上限」「限度」などといつた解答でもいいでしょう。

「庄司」は中学時代のいじめが原因で、自分の顔や名前に悩み、「おれ」や「大和田」に素顔を見せようとしました。顔も名前も関係なく「庄司」のことを認めている「大和田」からすれば、「庄司」に素顔を見せつきました。

合ってもらいたいだろうし、「おれ」も同じ気持ちだと考えられます。そんな三人が語り合い、「庄司」はありのままの自分をさらけ出していくことを決心したのです。三人の間にはもうわだかまりはありません。お互いが理解し合えた満足感を味わっているのです。

問士一 「庄司は黙った。」では、「大和田」のありのままの自分を認めてくれる言葉に喜びや安心を感じたものの、まだ今後どうするのかを口にすることができない「庄司」の気持ちを読みとりました。それが「おれ」の具体的な言葉に勇気づけられて箱をもう使わない決心をし、「小よく頷いた」と考えられます。